2018. 12. 2　日本基督教団 阿佐ヶ谷教会 図書委員会

☆☆図書室だより☆☆　☆第30号☆

☆☆ー 図書委員会よりお知らせ ー☆☆

2018年 5月(後期)～ 11月(前期) 新規登録書籍をご案内します

書 名 （購入書）	著者名など		
聖書の成り立ちを語る都市 フェニキアからローマまで	ロバート・R・カーギル 著 真田由美子 訳	白水社	〔橙 193.02 Ca〕
暴力の世界で柔和に生きる	スタンリー・ハワーワス他著 五十嵐成見 平野克己 他訳	日本キリスト教団出版局	〔赤 191.04 Ha〕
伝道のステップ1. 2. 3.	鈴木 光 著	日本キリスト教団出版局	〔茶 198.37 Su〕
エレミヤ書を読もう 悲嘆からいのちへ	左近 豊 著	日本キリスト教団出版局	〔橙 193.42 Sa〕
ATD 旧約聖書注解10 歴代誌上・下 エズラ・ネヘミヤ記	アントゥール・ヴィザー 他 監修 月本昭男 他 訳	ATD NTD 聖書註解刊行会	〔黄 193.2 A〕
旧約新約聖書ガイド 創世記からヨハネの黙示録まで	A・E マクグラス 著 本多峰子 訳	教文館	〔橙 193.42 Me〕
新約聖書 本文の訳	田川建三 著	作品社	〔橙 193.5 Ta〕

（ 裏へつづく ↩）

『クリスマスの奇蹟』

ディートリヒ・ボンヘファー 著　新教出版社〔橙〕

江原 有輝子　副牧師

讃美歌21-469「善き力にわれかこまれ」の歌詞をボンヘファーが書いたことはよく知られていますが、これが、彼がクリスマスに婚約者マリーア・フォン・ヴェーデマイヤーへ宛てた最後の手紙の中にあることを、この本を読んで知りました。彼は、ヒトラー打倒計画に加担してからエタールの修道院に滞在していたそうです。死刑を予想しながら家族とも婚約者とも離れ、たった一人獄中で過ごすクリスマス。家畜小屋の飼い葉桶の中に幼子が寝かされた最初のクリスマスも、豪華な料理やパーティとは無縁の粗末なクリスマスでした。「飼い葉桶を訪ねる者は以前とは別人となる」とボンヘファーは言います。キリストと出会ったとき、私たちすべての人生が一変しました。それは、獄中でも死の目前でも変わりません。「希望が今なお存在するところでは、敗北などあるはずがない」と彼は言います。これがクリスマスが私たちにもたらしたことなのです。

（神学生の鑑賞文より）○○

『クリスマスのメッセージ』

近藤勝彦 著　教文館〔緑〕

この本は近藤先生のクリスマスのメッセージがいくつか収められている本です。その最後のメッセージ「神の子とするために―パウロ書簡のクリスマス」を読みました。

ガラテヤ４章4節からの「御子を、女から、しかも律法の下に生まれたものとして御遣わしになりました」を引用しています。女から生まれたイエス様が現実に人間として生まれたこと、律法の下にはまだ後見人の管理下にあると解説されます。律法の支配下にあるこの状態は、自由のない奴隷の状態です。この奴隷の状態から、イエス様は十字架の死を通して私たちを律法から贖いだして下さいました。

クリスマスは十字架を目指しているといわれますがペンテコステも目指しています。私たちは注がれた霊によって「神の子」となることを赦され、「天の父よ」と呼ぶことができます。「天の父よ」と呼ぶ祈りは赦されている喜びの祈りだという奥深いメッセージでした。

（ 神学生 T.K ）

『キリスト教名画の楽しみ方　降誕』

高久眞一 著　日本基教団出版局　〔茶196.7 Ta〕

信友会主催のキリスト教美術鑑賞会で『マギの目醒め』という柱頭彫刻（サン・ラザール大聖堂）を知り、それは三人の寝ているマギたちと天使のユニークなデザインのものでした。この画集にも似た『博士たちへのお告げ』というステンドグラス（カンタベリー大聖堂）がありました。他、クリスマスには牛とろばが一緒にいるという設定があるようで「牛は飼い主を知り/ろばは主人の飼い葉桶を知っている。しかし、イスラエルは知らず/わたしの民は見分けない」（イザヤ書１章３節）という記述に準拠‥しているらしく（P.25）、それも観ていて楽しいです。昔も今も聖書のクリスマスの出来事は、喜び、希望をもって表現されていることを思います。（Ri）

書名　（上:購入　下:ご寄贈）		著者名など		
NHK宗教の時間	物語としての旧約聖書　上　人間とは何か	月本昭男 著	NHK出版	〔橙 193.1 Tsu 1〕
〃	〃　下　いかに生きるか	〃	〃	〔橙 193.1 Tsu 2〕

書名　（ご寄贈書）	著者名など		
わたしはよろこんで歳をとりたい	イェルク・ツィンク 著 眞壁伍郎 訳	こぐま社	〔青 194 Zi〕
マーティン・ルーサー・キング ー非暴力の闘士　岩波新書（新赤版）1711	黒﨑 真 著	岩波書店	〔茶 198.62 Ku〕
MARCH［マーチ］　1 非暴力の闘い	ジョン・ルイス 他 著　ネイト・パウエル 画	岩波書店	〔黒 316.853 Le 1〕

『聖書の成り立ちを語る都市　フェニキアからローマまで』

ロバート・R・カーギル 著　〔表面に紹介〕

大変興味深い本である。取り上げられたのは以下の諸都市。
フェニキア人の都市国家、ウガリト、ニネヴェ、バビロン、メギド、アテネ、アレクサンドリア、エルサレム、クムラン、ベツレヘムとナザレ、ローマ。

いずれも聖書に出てくるか影響を与えた都市で、その都市がいかに聖書と関わりを持っているか、影響を与えたか、歴史を変えてきたかなど、都市を通して最新の聖書学、考古学の成果をまことに平易に解説し、目を開かせてくれる。とにかく分かりやすい。そして翻訳も、詩編の数え方を〇章としているのは普段〇編と数えている私たちにはちょっと違和感があるが、それ以外はこなれた日本語で読みやすくなっていて、さすが白水社の本と妙に納得。

詳細な註、引用聖書箇所の一覧、参考文献など丁寧に読むとそれだけで読み応えがあり、さらに調べてみたいと思う人にとって便利で、聖書の本文の裏に潜んでいることが見えてくる。改めて聖書を読み直してみたくなる本である。　（信友会 M. T.）

『マーティン・ルーサー・キング ー非暴力の闘士』

黒﨑 真 著　〔上に紹介〕

『MARCH［マーチ］１非暴力の闘い』

ジョン・ルイス 他 著　ネイト・パウエル 画

今年はキング牧師が暗殺されてから50年です。アメリカ中間選挙開票後の新聞のコラム（※）にリンカーンの演説「分裂して争う家は立っていることができない」（マルコ３：25）が引用されていました。その奴隷解放宣言の100年後にキング牧師たちは第二の解放宣言を求めてワシントン行進をしました。20万人以上が集いリンカーン記念堂まで「フリーダム」を連呼しながら「平等の権利を」「投票権を」「仕事を」「統合教育を」「警官の暴力停止を」など掲げて。「‥正義と愛の神へ‥今こそ‥神の意志を直接行動によって示すときである。」（P.25）直接行動というのは非暴力を貫き（争いでなく）和解を求めること、その力強さは大きな信仰からきていると伝わってきます。（※朝日2018.11.8）　（シオン会 Ri.I）